

初の台東区戦争展に北作品も参加、
参加者、北一明展で反戦、反核の思い新たに

8月24日、25日に台東区入谷の日本医療労働会館で台東区初の「平和を願う台東・戦争展」が開かれ、北一明作品のコーナーも開設しました。



村瀬守保写真展、医療と戦争展



北一明展も多くの参加者で混雑

参加者は160名以上、アンケート提出も約30名、募金も約57,000円でした。今年も東京都内各地約10か所で戦争展が開催されましたが、台東区でも取組みが始められ、当初は日中戦争を一兵卒として写真に収めた村瀬守保パネル展として企画されました。その後731部隊で人体実験を行なった医師の証言などをパネル化した「医療と戦争」展示が加わり、北一明記念館からも打診していたところ展示が了解されたので参加することになりました。

他の展示はパネル中心でしたが北一明記念館からはデスマスク、耀変天目、書の大作などを出展し、参加者から驚きをもって受け止められました。

全体として展示スペースが比較的狭かったため、北作品も厳選した展示となりましたが、充実した内容との評価も寄せられました。

会場は、少し分かりにくい場所でしたが、関係者などが地域に宣伝し、同館の全面的な協力のもとに初の展示会としては大きな成果が得られました。